

城南家保ニュース Vol.28-1 1

熊本県城南家畜保健衛生所

〒868-0042 人吉市蟹作町一本杉 1237-1

TEL 0966-22-3814 FAX 22-3617

メールアドレス jounankaho@pref.kumamoto.lg.jp

ホームページ <http://www.pref.kumamoto.jp/kahojouan>



韓国における口蹄疫の発生について

平成29年2月5日に、韓国忠清北道において口蹄疫の発生が認められました。韓国での発生は11ヶ月ぶり、その後も、2月13日までにA型、O型合わせて計9例の発生が確認されていることから、我が国への侵入リスクが一段と高まっています。

一方、2016年には、約2400万人の外国人が訪日しており、口蹄疫の発生国（韓国、中国、台湾等）からの訪日外国人の割合は全体の約78%を占めます。

このような状況を踏まえ、熊本県においては平時の防疫対策に加え、外国人観光客が訪れる旅館、ホテル、ゴルフ場に対して消毒マット設置等の協力を依頼するなど、更なる防疫強化に努めています。

畜産関係者におかれましても、飼養衛生管理基準をきちんと遵守し、農場内への病原体侵入防止に努めるようお願いいたします。また、口蹄疫を疑うような特定症状（流涎、水疱、発熱等）を発見した場合は、速やかに当所まで御連絡くださるようお願いいたします。

韓国で口蹄疫の発生を確認！

今一度、本病の発生予防を徹底しましょう！

韓国では、現在、広範囲の地域で口蹄疫（O型及びA型）の発生が続けて確認されており、我が国へ侵入するリスクが極めて高い状況が続いています。

過去の日本での発生をみると、まず韓国で発生しています！

2000年 → 2000年

2002年

2010年 → 2010年

2011年

2014年

現在

韓国における口蹄疫の発生状況
(2017年2月以降)

2017年2月14日現在

京畿道: 1件
*漣川(ソリョン)郡
2017年2月8日 牛(A型)

忠清北道: 7件
*松岩(ソクア)郡
2017年2月5日 牛(O型)
2017年2月9日 牛(O型)
2017年2月11日 牛(O型)
2017年2月12日 牛(O型)
2017年2月13日 牛(O型)3件

全羅北道: 1件
*井邑(ヨングプ)市
2017年2月6日 牛(O型)

発生確認件数: 9件
(O型8件、A型1件)

侵入する可能性は非常に高い!!

発生予防の徹底をお願いします！

農場の出入口に看板を設置するなどにより、**関係者以外の立入を制限**しましょう。

農場に持ち込む**物品や出入りする車両の消毒**を徹底しましょう。

農場や畜舎の出入口に**踏込消毒槽**等を設置することにより、出入りする人の**靴底の消毒**を徹底しましょう。

従業員の方も含め、**口蹄疫が発生している国への渡航は可能な限り控える**とともに、これらの国の**農場からの郵便物等は衛生管理区域に持ち込まない**ようにしましょう。

毎日、飼養家畜の健康観察を行いましょ。

関係者以外
立入禁止

DO NOT ENTER

効果的な消毒を実施しましょう！

- 効果的な消毒のポイント
 - 踏込消毒槽の消毒液は、汚れて効果が薄れてしまうことから、**まずは汚れを落としてから消毒**すること。また、消毒薬が汚れていることに気づいたら、**直ちに交換**すること。
 - 農場に出入りする車両の消毒では、タイヤのみを消毒するのではなく、**泥よけの内側部分や運転席の足元スペースも可能な限り消毒**すること。

推奨される踏込消毒槽の設置方法

＜要注意＞

- ★ **逆性石けんは口蹄疫の消毒薬としては不適です！**
- ★ **消毒効果が弱まるので、酸性とアルカリ性の消毒薬を同時に使用しないこと！**

疑わしい症状は直ちに通報を！

口蹄疫は牛や豚などで発熱や食欲不振に始まり、後に**よだれ**を流したり、**口、ひづめ、乳房に水ぶくれ**ができるのが主な特徴です。

～牛の症状～

～豚の症状～

写真：岩崎県提供

毎日必ず健康観察し、これらの症状を見つけた次第、直ちに獣医師や最寄りの家畜保健衛生所に連絡しましょう。

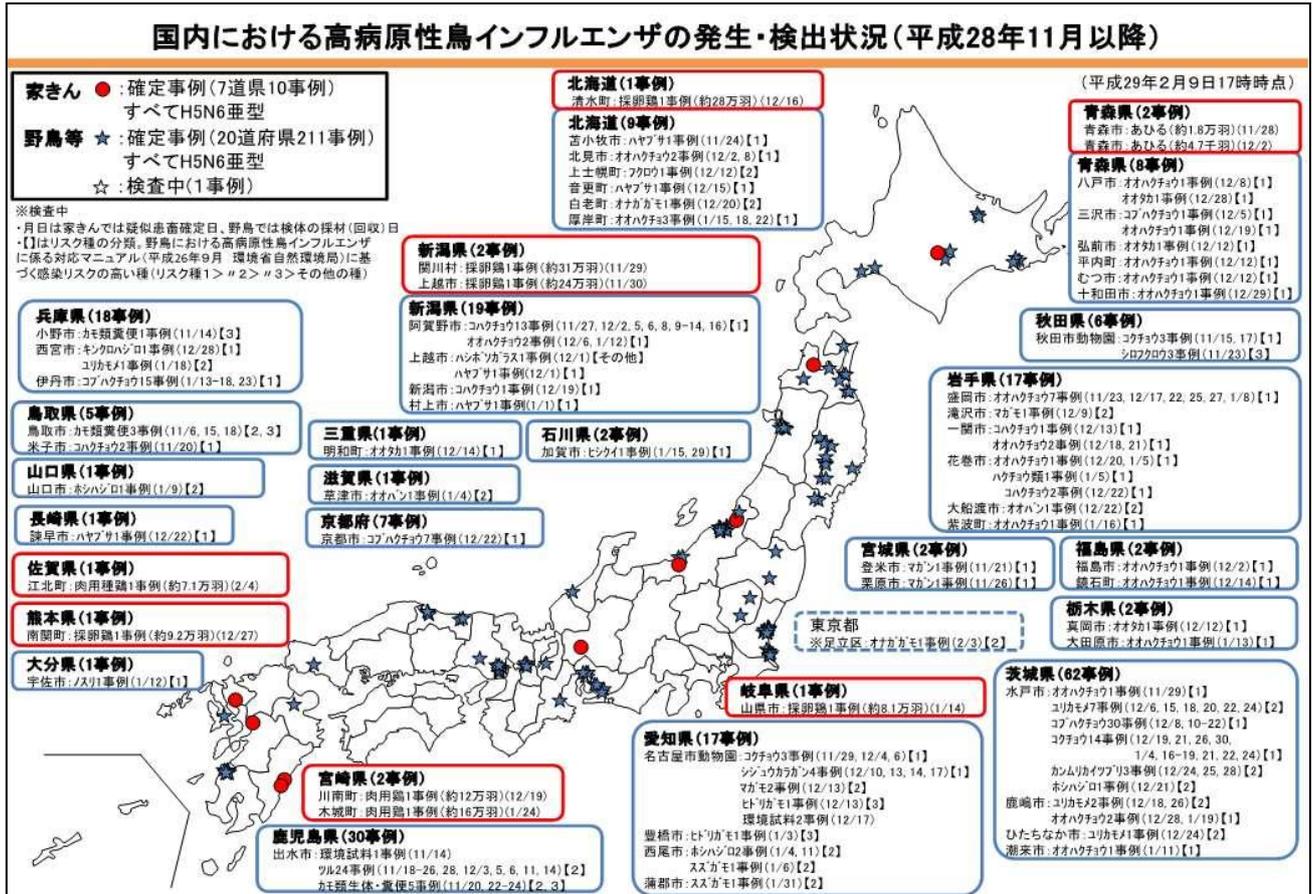
連絡先: 最寄りの家畜保健衛生所の連絡先を記入しておきましょう！

国内における高病原性鳥インフルエンザの発生について

昨年12月27日に発生した南関町における高病原性鳥インフルエンザ（HPA1）につきましては、その後の新たな発生もなく、1月19日に移動制限区域が解除されました。

しかしながら、1月に岐阜県、宮崎県、2月に佐賀県と国内での発生はその後認められていることから、今後も警戒が必要です。

養鶏農家及び関係者におかれましては、今後とも野生動物の侵入防止等の防疫対策によるHPA1の発生防止に努めていただきますとともに、死亡率増加等が認められた際は、速やかに当所まで御連絡くださるようお願いいたします。



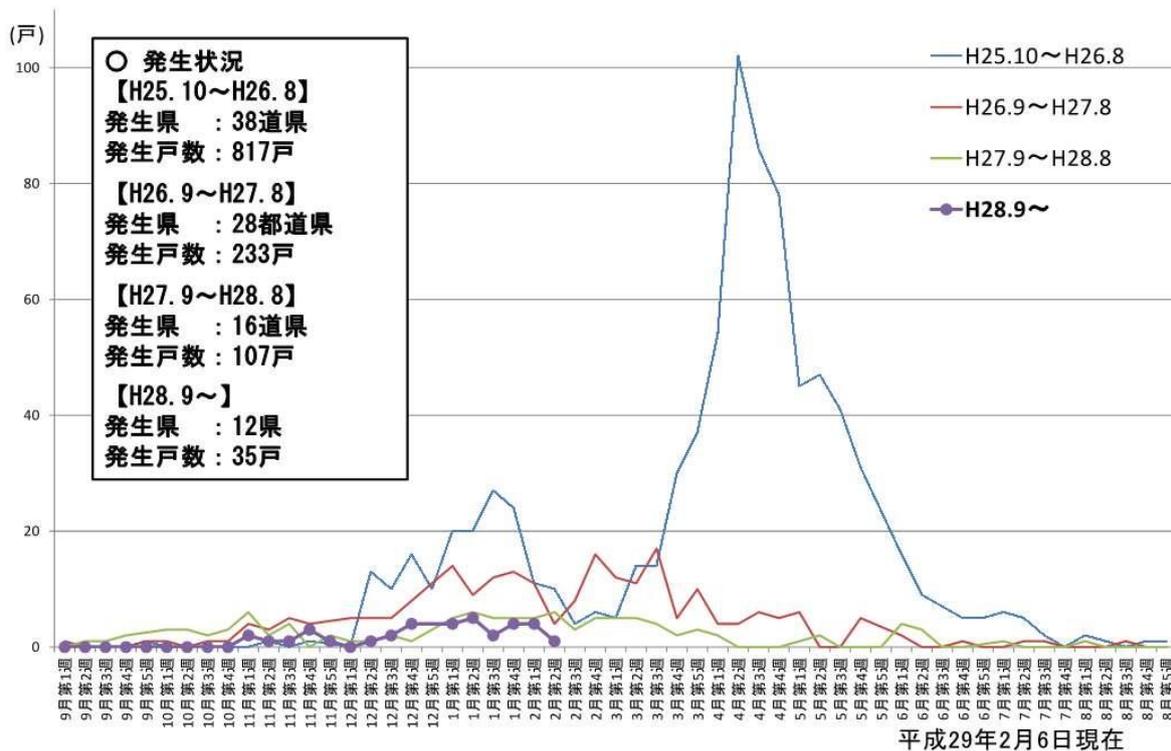
県内における豚流行性下痢の発生について

1月29日に菊池地域の養豚場において、今シーズン*県内初となる豚流行性下痢（PED）の発生が認められ、1月31日と2月15日に、同地域にてさらに2例の発生が確認されています。

PEDの発生は、25年度以降、年々件数は減少していますが、今シーズンにおいても12県35戸で発生が認められています。農場内における清掃・消毒に加え、農場外で使用したトラックは、タイヤハウス、フロアマット、ペダル等の車内外を念入りに消毒するなど、ウイルス侵入防止対策の徹底をお願いいたします。

※PEDでは、9月から翌年8月までを1シーズンとして考えます。

豚流行性下痢の発生件数の推移(週毎) 【平成25年10月～】



近隣諸国における悪性伝染病発生情報

病名	発生地	発生日	畜種	型
口蹄疫	韓国	2月5日～2月13日	牛	O型、A型
	中国	11月22日、1月5日	牛/羊/山羊/豚	O型
	ロシア	11月22日、27日、12月14日	牛/羊/山羊/豚	O型
高病原性 鳥インフルエンザ	韓国	11月16日～1月12日	家きん	H5N6
	中国	1月1日	コクチョウ	H5N8
		1月11日	がちょう	H5N6
	台湾	12月17日～1月1日	地鶏	H5N8
		12月29日	あひる	H5N2
		1月5日	地鶏	H5N2
	ロシア	12月26日、27日	家きん	H5
		1月1日、5日	コバクチョウ	H5
		1月3日	コバクチョウ/シュバシコウ/ ヨウム/フクロウ	H5
	1月8日	鶏	H5	

2月13日現在